

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	神奈川県鎌倉市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	鎌倉武家文化普及啓発事業		
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画を踏まえ、「歴史を継承し、文化を創造するまち」鎌倉をめざし、伝統的な文化の保存・継承など、文化遺産・歴史遺産を活用した地域活性化を推進するため、以下の取組を実施する。</p> <p>鎌倉は、源頼朝が鎌倉幕府を開き、武家社会発祥の地と言われる。その鎌倉で生まれ、発展してきた「武家文化」を鎌倉の財産として継承し、新しいまちづくりへと向けての事業を推進していく。</p> <p>時代を経る中でいろいろな形に変わりながらも現代に残る「武家文化」を生み出したものは、後の日本の政治に大きな影響を与えた武家政権である。また、禅宗寺院における五山文化、鎌倉の武士が好んだ田楽能や茶など、「武家文化」は、現代日本の伝統文化の源流といってもよいものである。</p> <p>さらに、鎌倉が育んできた「武家文化」のよさは「座禅」「仏像」「流鏝馬」といったものだけに限らず、それらを包括して新しいものを生み出す力にあると考える。そこで、鎌倉市ではこれらの文化遺産・歴史遺産を保存・継承するだけでなく、これらを活用し、新しい文化を作り出し、それによって地域活性化を推進していきたいと考える。</p> <p>※第3次鎌倉市総合計画は、URL(<a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/index_sougoukeikaku.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/index_sougoukeikaku.html</a>)</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等は以下の担当課がおこなう。</p> <p>教育委員会教育指導課：各補助事業における日程調整、事業の補助等 文化財課：市保有の資料提供、事業の補助等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 鎌倉能狂言実行委員会（代表 鎌倉市文化協会理事 中村省司） 玉縄城址まちづくり会議（会長 荒井 章）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 1,777 千円	平成29年度申請額： 2,069 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の武家文化に対する関心や意識が向上することで、今後世界遺産再登録に向け、地域住民の理解が深まり、協力協働につながると考えられる。</p> <p>また、地域の文化遺産の保存、継承への意識が高まり、地域活性化に向けて期待がもたれ、文化遺産と共生するまちづくりが進むとともに、国内外の観光需要が高まることが想定される。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史文化基本構想」は策定について検討中。</li> <li>・「歴史的風致維持向上計画」については、歴史的遺産と共生するまちづくりを推進する上で、後世に守り伝えるべきまち並みをより明確に示し、まちづくりの基盤を整えていくことを目的に、「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」として策定し、平成28年1月に主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）より計画の認定を受けた。</li> </ul>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	鎌倉市教育委員会 教育指導課・文化財課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	鎌倉市への観光客の満足度			関連事業 :	① ③	
目標値 1 :	平成 26 年度		79 %	⇒	平成 33 年度 83 %	
設定根拠 1 :	第 3 期鎌倉市環境基本計画に定める目標値 (平成37年度、85%) を参考に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	玉縄ふるさと館の利用者数			関連事業 :	② ③ ④	
目標値 2 :	平成 29 年度		4,000 人	⇒	平成 33 年度 8,000 人	
設定根拠 2 :	平成28年度までの毎年度伸び率は約10%だが、旅行会社との連携の強化を検討中であることや、平成31年に玉縄城を築城した「北条早雲公500年遠忌」があることなどから、伸び率を20%と設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業④：	鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業	実施団体：	玉縄城址まちづくり会議		
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度		
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉縄城域の城南地区・城東地区の調査研究を行い、地域調査を完了させる。フィールド調査に市民学芸員と大学生が参加。</li> <li>・研究成果の記録作成、研究記録冊子及び学生向けハンドブック「戦国時代の鎌倉・玉縄城」の発行につなげる。</li> </ul>				
評価指標区分：	(リストから選択してください。)	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	調査報告書を関係者に配布するほか、報告書を基に小中学生から市民向けの「戦国時代の鎌倉・玉縄城」のハンドブックの作成につなげる。				
目標値：	平成 年度 (単位)	⇒	平成 年度 (単位)		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)